

2008年度 学友会各部・同好会 在籍数・役員一覧

	中1			中2			中3			高1			高2			高3			合計					
	人数	役員	部長	人数	役員	部長	人数	役員	部長	人数	役員	部長	人数	役員	部長	人数	役員	部長	人数	役員	部長			
英語部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
演劇部	4	3	1	8	0	3	5	8	18	青木孝彦	-	-	渡川真人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
科学部	7	8	5	20	0	3	5	8	28	高橋俊博	-	高野 優	須見貴樹	下地謙太郎	大河原一平	-	-	-	-	-	-	-	-	-
写真部	2	1	1	4	2	3	1	6	10	-	-	-	橋 隆弘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
吹奏楽部	6	13	13	32	11	5	6	22	54	山田圭介	清水雄輔	-	宮田 卓	宮川駿介	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
生物部	1	6	5	12	0	1	2	3	16	山田恭平	-	-	井本文裕	岡野太郎	内藤功輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊歩一口会	0	0	0	0	2	0	0	2	2	-	-	-	須田晃也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地歴研究部	1	2	4	7	0	4	1	5	12	-	-	-	石井瑛啓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天文部	1	2	1	4	6	4	0	10	14	林田恒一郎	-	-	小金沢 諒	中沢航佑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
美術部	0	1	0	1	0	2	3	5	8	山崎正一	-	-	橋本雄平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文芸部	0	3	0	3	0	1	4	5	8	-	-	-	高島 翔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放送研究部	2	5	0	7	2	2	4	8	15	山田圭介	-	-	戸田優輝	飯島隆太郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クワイア	4	4	1	9	0	6	3	9	18	-	-	-	鈴木健一郎	田中優裕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理研究同好会	17	1	7	25	7	14	4	25	50	-	宮岡聖賢 鈴木湧地	-	大石哲夫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	45	49	38	132	33	48	38	119	251	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(アコライト)	4	5	4	13	6	2	4	12	26	田中 潤	-	-	島崎裕紀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剣道部	3	1	2	6	4	0	3	7	13	岩永 隼	小泉紀樹	鈴木卓人	土屋一徳	宮崎一郎	松本宏祐	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ゴルフ部	16	7	4	27	14	3	6	23	50	-	-	-	小川智優	松本亮平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サッカー部	9	13	13	35	14	6	9	29	64	横山佳津雄	黒崎 晃	飛田晃典 及永幹太	時柳飛鳥	長谷川和弘	櫻場健太	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山岳スキー部	2	3	5	10	1	5	5	11	21	田中 潤	高橋大樹	中山恭輔	米田智樹	東園原守	増田智裕	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水泳部	7	8	4	19	0	10	6	16	36	永島 快	尾田大生	鈴木琢磨	篠澤 新	戸田優輝	花保博己	多田洋史	山崎 駿	-	-	-	-	-	-	
卓球部	11	7	10	28	1	10	11	22	50	阿部真志	長倉 慧	大野駿平 田中公人	神田和史	田邊貴哉	山崎 駿	石井広規	山中 駿	-	-	-	-	-	-	
卓球部	13	19	18	50	16	11	5	32	82	大村恭平	-	安田圭佑	峰尾洋平	山中 駿	石井広規	山中 駿	石井広規	-	-	-	-	-	-	
バスケットボール部	16	16	6	38	11	4	4	19	57	中村亮太	大塚裕太	横山尚之 明石真之介	渡邊武陽	村山直人	山崎 駿	石井広規	山中 駿	-	-	-	-	-	-	
野球部	13	12	15	40	15	8	5	28	68	上村 晋	梶原 博	-	佐野大祐	橋口翔樹	橋本寛信	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陸上競技部	4	3	6	13	14	3	7	24	37	林 昂平	齋藤ニコラス	小野華太	田口 諒	利光泰紀	関野明大	西条雄貴	-	-	-	-	-	-		
釣り同好会	3	1	5	9	0	4	0	4	13	-	-	-	加藤和貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	97	90	88	276	90	64	61	215	490	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	142	139	126	407	123	112	99	334	741	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在籍生徒数	139	133	134	406	134	123	117	374	780	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ アコライトは合計数に含まない。兼部している生徒あり。

「教育実習で得られたこと」

教育実習を終えて

この度の教育実習を通して、様々な生徒との出会いや研究授業など貴重な体験をさせてもらった。これから教師を目指していくにあたり、この三週間の経験を活かして頑張っていきたいです。最後にお世話になった原先生や多くの先生方、中一、高一、三年生の皆様、放送部員の方、色々ありがとうございました。  
 (下 笠井奈奈 高校三年二組担当)

教師という仕事

教育実習を通じて一番感じたことは、教師という仕事の大変さである。私が学生だった頃、先生方が当たり前のようになさっていた仕事や、実際に実習で体験してみると、慣れない授業の準備に時間を取られ、厳しい毎日であった。しかし、学活や授業はほとんど自由にやらせてもらえ、貴重な経験をさせてもらった。  
 (中 山崎新一 中学三年三組担当)

「教える」ということ

三週間は短かったが、大変充実していた。授業案を作成し、実際にやってみると、五分の授業を考へるのに、どれだけのかを考へた。また、「教える」とはどのようなことを考へさせられるのか、ただ答えるだけ「教える」のではなく、考へさせるという役割が求められると感じた。  
 (中 山崎新一 中学三年三組担当)

未来へつながる

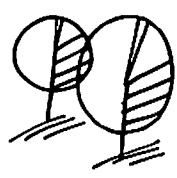
日々を経て、短い実習期間ではあったが、授業や日常生活を生徒と共にすることができた。彼らは素直さと繊細さを同居させる少年であると感じた。思春期の彼らへの教育は難しいが、人の成長を左右する大切なときだ。その自覚を持って彼らが夢を持って明るく毎日を送るようサポートしていきたい。  
 (久須賀聖也 中学三年一組担当)

一粒の種

教育とは、種をまくことだと感じた。今はまだ、いつの日か芽が出るかわからない。しかし、芽が出るのを信じて、種をまく。種が、一人一人の心に芽生えてくれるよう祈っている。短い期間ではあったが、多くを感じ、多くを学んだ。お世話になった方々に、お礼申し上げます。  
 (中 山崎新一 中学三年三組担当)

教育実習の経験を通じて

教育実習を通じて、勉強を教えることの難しさ、部活動で指導することの難しさや学ぶことができた。また生徒が意欲的に授業に参加できるような授業がどのようなものであるか等の面で実習以前より、さらに吟味する必要性に気がつくことができた。教師を目指す中で様々な経験を積みより深い知識を身につけたい。  
 (中 山崎新一 中学三年三組担当)



### 中学一年便り

Mottainai

みなさんはワングリ、マリータイさんを知っているだろうか？彼女は壊れゆく地球環境を守る行動を実践する際の合言葉として日本語の「Mottainai」を掲げた。以来、これを世界共通語として世界中に環境保護の大切さを伝えていき、ノーベル平和賞も受賞し、二〇〇五年に来日したこともある。

今地球はかつてないほど危機に瀕しているといわれる。しかも、環境に配慮したはずのバイオ燃料が食糧の価格を押し上げ、世界はどのようにも動けない状況に陥っている。

さて、こんな状況に君たちが立ち向かえ！といっても具体的などうしたらよいかわからない。だったら小さいことからやってみよう。そんなときMottainaiがやがてキワードではないだろうか。教室にはまだ使える鉛筆や消しゴムなどMottainaiをのびのびと使っている。Mottainaiにももうひとつの意味があると考えている。環境のことではない。君たち自身が君たち自身にMottainaiをすることではない。

この夏、いろいろな場面をMottainaiをキーワードにしてみてもどうだろうか。

(市橋 祐介)

### 中学二年便り

Groupwork & Teamwork

「グループワーク」と「チームワーク」は似ているようで異なると思える。「チームワークが生まれる」とは言うが「グループワークが生まれる」とは言わない。「チームワーク」とは人によって計画されたストラテジーであり、「チームワーク」とは、人間の温かさや思いやりの気持ちを表すのではないか。

学校生活等では、集団をある方向へ導こうとするのは大変重要であると思う。今の時代、そのように仕向けていける必要であらう。しかし一方、我々の人生すべてが「ノルマ」を課せられてそれをこなしていく事だとすれば、何と居心地の悪いものであろうか。

人間の本質(罪)として「自己満足のために行動する事」があるのは否定できない。さらに言えば、個人の欲求を満たしたい気持ちが下がり、努力を怠り、社会全体が衰退してしまうであろう。

結論として私が述べたいのは、グループワークを通じて集団に貢献する気持ちが必要である。言うまでもないが、グループワーク以外の場面でも、利己心をコントロールしつつ品格を持って努力し続けること、という事だ。いづれの場合も「社会に貢献して満足を得る事」に変わりはない。そして、家族や友人、帰属集団、ひいては社会全体を思う気持ちこそが、チームワークの意味なのだと思ふ。

(小沢 哲也)

### 中学三年便り

踊り場での思考

人生は階段だと思っている。赤ちゃんと初めて自分の力で立つ力。小学生がクラスで仲間と共に生きる力。中学生が学校で自分を表現する力。高校生が大きなコミュニティで自分の考えを持って生きる力。大学生が自由な空間で自己実現する力。社会人が社会で働く力。すべての事は繋がっていて、その小さなステップを一つ一つ丁寧に昇って行く。小さなステップでも、一段飛ばしでは絶対に飛び越えられない大事な階段。

「人間はね、業に生きようと思ったら、どこ迄も落ちる事が出来るのよ」私が小学生の頃、担任の先生が言っていた印象的な言葉。人間は他の生物にない能力を与えられた一方で、他の生物にはない多くの誘惑に囲まれている。だからこそ、自分自身の精神をコントロールしなくてはならない。部活でも勉強でも自分の矢印を出る限り上へ向けて欲しい。何かを成し遂げた時に感じる達成感を大切にしよう。

この夏、中学校生活最後の階段は何か、何を自分の約束として過ごしていくのか。自分自身を高める事を意識的に考え、最高の夏を過ごして下さい。

(宮崎加菜枝)

### 高校一年便り

高一キャリア学習より

大学教授の話に今後の進路に思いを馳せ、職業人に對するインタビューから仕事の一端を垣間見ました。立派なプレゼンテーションが多くなされ、アンケートからもこの学びに満足したという結果が見られました。このことから君達の職業に対する関心の高さが伺えます。

君達は将来立教の卒業生として社会的に責任のある地位についていくでしょう。その時に留めてほしいことが非心に留めてほしいことがありません。それはこの学校の教育目標でもある共生に於いてです。今の社会は本気で全世界の人々が共に生きていく状態になっていくのでしようか。

企業は利益を追求します。商品を売って利益を出しますが儲けを増やすためには生産量を増やすか、生産にかかるとコスト(原材料費・人件費)を減らす等の方法が取られます。

前者では資源の濫用から環境破壊を生みます。温暖化の影響は全世界規模で見られるものです。以前では考えられなかった規模の暴風雨が吹き荒れ、大きな水害をもたらしたかと思う一方で早急により飢饉が発生しています。また、海面水位が上昇し国全体が水没しそうな困も存在しています。後者は原材料を削減した悪い例として食品偽装や、食べ残しの使い回し問題として表面化しています。また、人件費を減らした場合は雇用問題を生んでしまいます。このように極端な利益追求は大きな歪みを世界に及ぼします。将来を含め全体を見渡す目と慈しみの心を持って今後の日本を担っていきましょう。

(山口 弘泰)

### 高校二年便り

Do Your Best!

高二的夏を迎える君たち。それは高校生活の折り返し地点を意味するので、卒業やその先の進路に向けて、具体的な準備を始めることになりなす。

そんな中、私が君たちに意識してもらいたいこと。それは、物事に真剣に取り組む姿勢です。クラブ活動でもスポーツでも遊びでも、本当に楽しいと感じる時は一生懸命になっている時ではないでしょうか？

だから、学習でもテストでも話を聞くことでも、それを本気で楽しんで欲しい。そして、自分で自分にとって何が必要か選択して欲しい。このくらいでいいやとか、まあ適当にといった程度では本当の意味を知ることはできないのです。

君たちが立教という学校で学んでいる以上は、与えられた才能を活かしてゆく使命があるのです。その才能は一人一人異なっているのです。まずは何事にも心を尽くし、力を尽くして取り組むことが大切だと思います。

(初瀬川正志)

### 高校三年便り

偽りのない中身

最近のニュースで多いのが、偽装です。産地を偽っての販売、期限切れのごまかし等です。産地については、長年の積み重ねによる品質の信用、信頼を借り衣にしただけの、中身は別物という、消費者をバカ扱いした犯罪です。さて、我が高三生はどうでしょうか。とりあえず、産地にはまがいありません。

立教池袋の出身です。問題は、立教池袋がもつブランドがどの程度のものか、そして、その程度のもを身につけたかどうかです。英検2級程度の学力、テマをもって、共に生きる力はあるのか。教える側も、期待するレベルまで到達させるよう、心を鬼にして妥協せずに指導しなければいけないと感じていました。

最近、うなずかれました。ことに、棋聖戦の記録係りのことがあります。普通、記録係は修行中の奨励員がとるのですが、終了までの延べ約九時間、ずっと正座を通過していたのを見た観戦者。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの轡を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの轡は負いやすく、わたしの荷は軽いからである」

マタイによる福音書第十一章二八―三〇節

## 十 今月の聖句

しかし、人間とはそもそも一人で生きていくわけではありませぬ。また一人では生きられません。これらは矛盾した事柄ですが、ふと重荷を負いすぎて疲れた時、このイエス様の言葉を思い起こして欲しいと思います。

チャブレン菅原裕治

### 学生会一職報告

中学院上級校部 都大会(通信大会)一年百Mにおいて松田貴大が十二秒四二で二位に入賞した。高校陸上競技部 都大会(総体)四百MHにおいて田口諒が五位に入賞し、関東大会に出場した。